

富山市総合計画審議会第6回安全部会 概要

場所：富山市役所4階 402会議室

日時：平成18年11月16日（木）

14:00～15:30

1 開会

2 部会長あいさつ

竹内部会長あいさつ

これで最後の部会となるが、ここで発言できることは発言していただきたい。これから説明される対応案についてご意見をいただきたい。

3 議事

- ・総合計画前期基本計画（案）についての意見と対応（案）について説明
- ・市民に期待する役割について説明

<概要>

（部会長） 事務局から総合計画前期基本計画（案）についての意見と対応（案）及び市民に期待する役割についての説明をお願いしたい。

（事務局） 資料について説明

（部会長） 安心部会を中心に、対応に対してご意見などがあればお願いしたい。

（委員） 総合的な検討がされていると思う。104頁の落書きの件について、美化運動に力を入れており、市民美化大作戦も行っているが、消しても繰り返される現状からすると、もっと罰則の強化などの対策をうたえないものか。市の条例はないのか。

（事務局） 市の条例はないが、従来落書きについては器物損壊として事件処理していた。先般、最高裁判例で建造物損壊という判例が出、告訴がなくても捜査・起訴ができるようになった。氷見警察署が1件検挙している。全国的に見ると県条例も市条例もあるが、警察との連携があることから県条例の方が良いと考えている。

（委員） 強化により、ピンクビラは駅前からほとんど無くなった。環境美化については、文章に書いてあるだけでは効果が現れないのではないか。

(事務局) 公共の場所では、ある程度きれいになるが、個人所有、特に空き家になると難しい点がある。市条例を作っても、県警の協力がなくてはならない。

(委員) 89頁に耐震性貯水槽の整備があるが、地域の防火水槽を再点検する必要があるのではないかと。非常時には飲料水兼用の貯水槽が必要ではないかと。

(事務局) 現在、市内の木造の多い住宅密集地に5基、100m³の飲料水兼用防火水槽が設置されている。地域の防火水槽は各地域の消防署で点検している。

(委員) 改良できるものは、点検して改良してはどうか。

(事務局) 現在の基準に合っていないものは、新たな場所での設置を検討している。

(委員) 学校給食における地産地消について、これから発達していく子どもたちに対し地産地消をすすめて欲しい。また、どのように地産地消を進めていくのか。192頁の指標のうち、転作面積にかかる出荷野菜等の栽培面積について、30%に上げる根拠は何か。

(事務局) 一つの方法として、朝市の支援や拠点の設置、その拠点のネットワーク化、とれたてネットワーク事業等を行っている。生産者自らの努力も必要と考えている。

(委員) 前にも述べたが、自分の土地をどんどん活用して欲しい。地産地消を実際にどう行うかが問題。

(部会長) 今後、いかに具体化するかが問題である。

(委員) 地域審議会の関心事は、具体的事業概要である。合併前の町村の計画を吟味して欲しい。建設計画とリンクして欲しい。84頁の事業のうち、急傾斜地崩落防止対策事業について、23年までの対象家屋・延長が少ないのではないかと。県の事業とも関連するかもしれないと。

(事務局) 各地域を調査後、計画化している。県の調査がまだな所があり、調査後速やかに各総合行政センターの意見を聞きながら対応する。

(委員) 排水対策について、ポンプ車で対応できない場合もある。国県にも陳情しているが、一緒に行って欲しい。

(委員) 対応案のうち、災害や犯罪のない明るい社会を目指してと入れていただいた事は結構である。

(委員) 色々な意見があると思うが、これから実行していく事が大切である。市は自信をもってこの計画を推し進められたい。

(委員) 安心部会であるが、児童虐待防止体制の整備について、児童虐待防止連絡協議会は設置されたのか。

(事務局) 協議会は担当に確認する。虐待等については、職員の研修派遣などにより児童相談等に関する人材の育成を行っている。

(委員) 観光についての記述が多いが、富山は産業立県であり、元々施策が少ない所であった。もっと踏み込んで検討してもよいのではないか。また、牛岳スキー場の利用について、違った発想で行ってもらいたい。

(事務局) スキー人口の減などの理由により利用者も減っている。スキーを冬場の大事なスポーツの一つと考え、スキー場を体育施設という観点から運営していく考えがある。また、ファミリーグレンデの活用や修学旅行の誘致などを行っていききたい。

(委員) 情報のインフラの強化。正しい情報をいかに伝えるかというインフラの強化が必要である。セキュリティや脆弱性のチェックが必要である。

(部会長) これに限らず、書いてある項目を施策の中でどう実施していくかが大事である。

今日で部会は最後だが、来週の全体会で修正されたものが了承されていくことになる。

4 閉会

(以上)